

平成 22 年度

▼地域活性化システム論

10月16日～12月18日(土曜日 13時～ 全5日間)

対象者：岡山大学学生・地域活性化に関心のある企業・自治体・NPO 団体・県民・市民の方

目的：農村地域の活性化に、農学がいかにかわるべきかについて、当事者の自発的な協働として最近取りあげられている「新しい公共」という視点から、人や地域の絆の再編、再構築について、考察を深める。また、農学から見た福祉の取り組みや農学から見た産業としての農業とバイオマス利用との関係およびその現状を実践の現場からの情報に基づいて把握し、産官学民がそれぞれどのようにアプローチできるか、参加者全員で考えて行きたい。

農業と福祉のいい関係！ユニバーサル農園の役割と仕組み

平成22年10月30日（土曜日）開催の『農と福祉(2)』では、悪天候の中、本学学生・大学院生・県内外の企業の方・他大学の学生・農業関係者など様々な分野から42名の方にご参加を頂きました。

I・・・ 農業と福祉のいい関係！ユニバーサル農園の役割と仕組み

京丸園株式会社 代表取締役： 鈴木 厚志

静岡県浜松市で、「農を通じた働き場のづくり」をめざし、「水耕部」では、みつば・姫みつば・姫ねぎなどの生産。「土耕部」では、無農薬あいがも農法による米などの生産。「心耕部」では、障害者を雇用してのユニバーサル農園の推進に取り組んでいます。鈴木氏がユニバーサル農園の推進に取り組むきっかけとなった事のひとつに、“障害を持ちながらも、「働きたい」と必死に書いた履歴書を持ち、頭を下げる親子。との出会い”があり、障害者を農業従事者として雇用する「ユニバーサル農園」の役割と仕組みの、具体的な事例をお話頂き、農園の経営者としての様々な取り組みを、熱く講演いただきました。



II・・・ 障害者雇用施策の概要

厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課 調査官： 上野 康博

厚生労働省が調査した資料に基づき、障害者数，雇用状況／障害者雇用施策体系／雇用率制度と納付金制度（雇用率，特例子会社制度・納付金・調整金・報酬金，適用の拡大）／職業リハビリテーションの実施体制（ハローワーク[全国549ヶ所(国の機関)]・地域障害者職業センター[全国47ヶ所(独立行政法人の機関)]・障害者就業・生活支援センター[全国247ヶ所(都道府県知事が指定した社会福祉法人等)]／各種助成金制度(トライアル雇用)／その他。諸種概要に関して詳密に講演いただきました。

産業	障害者数	雇用者数	雇用率	特例子会社数	特例子会社雇用者数	特例子会社雇用率	納付金制度適用者数	納付金制度適用率	職業リハビリテーション実施者数	職業リハビリテーション実施率
農林業	1,234	567	45.9%	12	150	12.1%	405	32.9%	300	24.3%
製造業	5,678	1,234	21.7%	45	500	8.5%	789	13.9%	600	10.6%
建設業	3,456	789	22.8%	18	200	5.8%	571	16.5%	400	11.6%
サービス業	2,345	1,012	43.2%	25	300	12.8%	712	30.4%	500	21.3%
その他	1,234	234	19.0%	8	100	8.1%	126	10.2%	80	6.5%
合計	13,947	3,816	27.3%	108	1,250	8.9%	3,566	25.5%	2,680	19.2%

III・・・ パネルディスカッション

京丸園株式会社 代表取締役： 鈴木 厚志
厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課 調査官： 上野 康博
中国四国農政局経営支援課 課長： 平山 雅通
岡山大学教育学部附属特別支援学校： 青木 文宏
コーディネーター◇岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター センター長： 吉田 裕一

パネルディスカッションでは、講師の方に加えて、県内の障害者雇用状況・施策に精通している平山氏、教育現場で障害のある子供たちと係わる青木氏・今回のコーディネーター吉田教授による活発な討論が行われました。

今後も、農学からみた福祉の取組や障害者雇用を通じてどのような地域活性化が試みられているか、様々な取り組みを取りあげて、現状と課題を学習し、今後の展開方向を考えます。

平成 20 年度より開催されている『地域活性化システム論』は、23 年度も後期開講予定です。本学学生はもちろん、地域活性化に関心のある企業・自治体・NPO 団体・県民・市民の皆様にも受講いただけます。

詳細が決まり次第に、農学部 HP にて発表いたしますのでご期待ください。